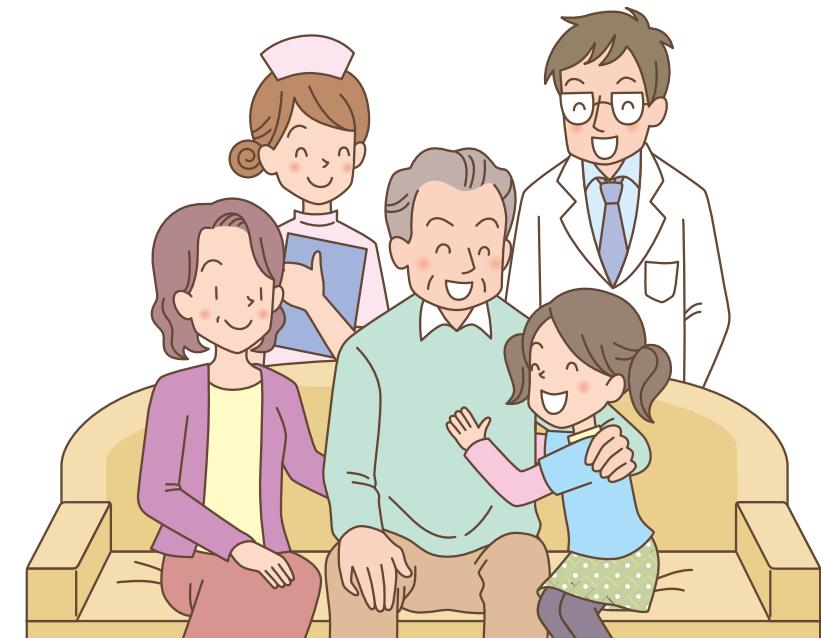


心房細動による脳卒中予防のために

# エリキュース錠を 服用される患者さんへ

監修 東京女子医科大学 医学部  
循環器内科学 教授・講座主任 萩原 誠久 先生

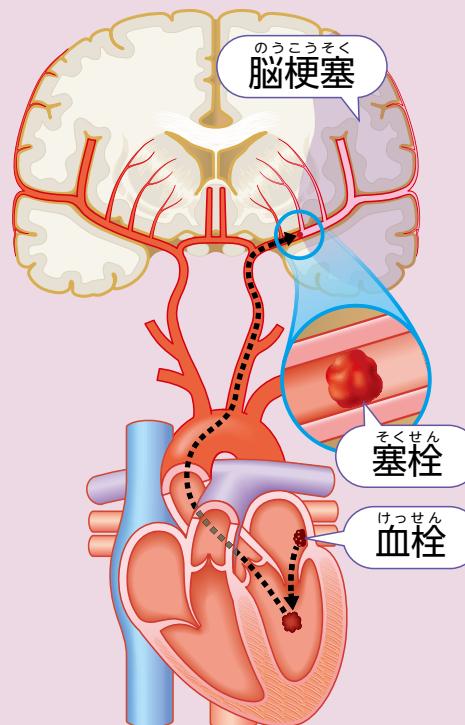


医療機関名(連絡先)

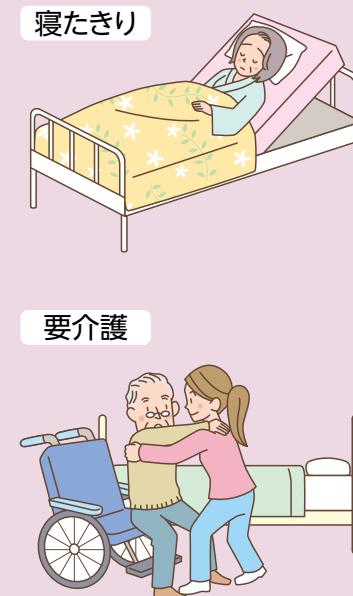
## 心房細動患者さんと心原性脳塞栓症

心房細動は、不整脈の1つです。心臓の心房という部位が震えてけいれんし、それにより血液の流れが滞ることで、心房の中で血栓(血のかたまり)ができやすくなります。血栓が脳の血管まで運ばれて詰まると、これが脳梗塞の引き金となります。脳梗塞は命が助かっても、運動障害や言語障害が残りやすく、長期のリハビリが必要となることも少なくありません。半身のマヒが起こると介護が必要となり、重度の場合は寝たきりになることもあります。このため、脳梗塞を予防することが重要です。

### 発症の仕組み



### 脳梗塞の危険性



## エリキュース錠は、心房細動患者さんの脳梗塞を予防するお薬です。

エリキュース錠(一般名:アピキサバン)は、血栓ができるのを防ぎ、血管が詰まるのを予防する抗凝固薬です。

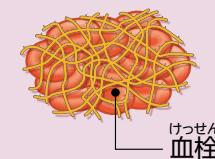


## エリキュース錠の服用を続けることが肝心です。

エリキュース錠は、毎日きちんと服用を続けることで、脳梗塞が起こるのを抑えることが期待されます。飲み忘れが続いたり、自己判断で服用方法を変えたりすると、脳梗塞を招く可能性があります。必ず主治医・薬剤師の指示に従ってお薬を服用してください。

### エリキュース(抗凝固薬)による治療

【治療前】  
血栓ができるやすく、脳梗塞が起こりやすい状態



→  
血液が固まる働きを抑える

【治療後】  
血液が固まりやすくなっている状態を改善

治療効果  
血栓ができる血管に詰まるのを抑える効果

副作用  
出血したとき、血が止まりにくくなっている

## 絶対にしないでください

自分の判断で、服用をやめること  
服用回数を減らすこと

## エリキュース錠の副作用

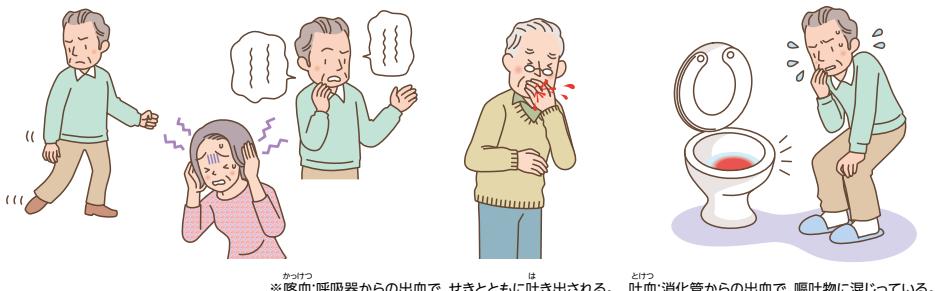


エリキュース錠の服用中は、出血したときに血が止まりにくくなっています。頭蓋骨の内部の出血や消化管の出血など重大な出血が起こることがあります。以下のような症状が現れた場合には、すぐに主治医に連絡してください。

はげしい頭痛、マヒ、  
ろれつが回らない

喀血・吐血\*  
(血を吐く)

血尿や血便  
(黒色便、赤い鮮血便)



\*喀血:呼吸器からの出血で、せきとともに吐き出される。 吐血:消化管からの出血で、嘔吐物に混じっている。

### 服用中は出血しないように注意しましょう。

エリキュース錠の服用中は、歯ぐきからの出血、鼻血、皮下出血(あおあざ)が起こりやすくなります。歯みがきや鼻かみはやさしく行い、刃物などを使用するとき(ひげ剃りなど)は、出血しないよう注意してください。けがをするおそれのある運動や作業は避けましょう。異常な出血の徴候(きざし)が認められたときは、医師に連絡してください。

歯ぐきからの出血



鼻血



皮下出血(あおあざができるやすい)



出血したときは、主治医に連絡してください。

#### ■家庭でできる応急処置

鼻血のとき



前かがみの姿勢で、鼻を強くつまんで、  
しっかり押さえ続けます。脱脂綿や  
ティッシュを鼻に詰めるとよいでしょう。

けがや打撲で出血したとき



きれいなガーゼやハンカチなどを  
出血部位に当てて、手でしっかりと  
圧迫して、止血します。



エリキュース錠の服用中は、間質性肺疾患が現れることがあります。以下のような症状がみられた場合は、すぐに医師に相談してください。

から咳  
呼吸困難  
血の混じった痰



発熱



この他にも気になる症状が現れた場合は、医師または薬剤師にご相談ください。

## エリキュース錠服用中の注意事項

- **歯の治療・手術・内視鏡検査**を受ける予定があるときは、事前に主治医に相談しましょう。

- ▶ 大きな手術の前には、エリキュース錠を中止しておく必要があります。また、服用の再開についても確認しておいてください。



- 他院や他科を受診するときは、エリキュース錠を服用していることを医師にお伝えください。

- ▶ 安全に治療を行ううえで大切な情報です。
- ▶ 妊娠を希望する場合や妊娠に気づいた場合は、すぐに医師へご相談ください。



- 他の薬を処方されるときや薬局などで他の薬を購入するときは、エリキュース錠を服用していることを医師や薬剤師にお伝えください。

- ▶ エリキュース錠には併用を注意すべき薬があります。



## エリキュース錠の服用方法

- 服用する直前にPTPシートから取り出して、水またはぬるま湯で服用してください。
- エリキュース錠は、1日2回(朝・晩)服用するお薬です。
- 食前・食後どちらの服用も可能です。時間を決めて、毎日同じ時間帯に服用しましょう。
- 服用に伴う食事の制限は特にありません(高血圧や糖尿病の治療のための食事制限は守ってください)。



### 飲み忘れたときの対応法

気づいたときにすぐに1回量を服用し、その後通常どおり1日2回服用してください。飲み忘れた場合でも、1度に2回分の量をまとめて服用しないでください。また、錠数や回数を多く飲みすぎた場合は、主治医にご相談ください。



# のうこうそく 脳梗塞を予防しよう! 春 夏 秋 冬

春

## のうこうそく 脳梗塞リスクを管理して、 のうこうそく 脳梗塞を予防しましょう。

5月は、脳卒中週間があり、脳卒中予防が全国的に呼びかけられています。また、5月17日は「世界高血圧デー」、31日は「世界禁煙デー」です。高血圧と喫煙は脳梗塞の危険因子です。

また、春は、歓迎会やお花見などお酒を飲む機会が増えます。脳梗塞の予防や再発防止のためには、お酒の飲みすぎはひかえましょう。

のうこうそく  
**脳梗塞リスク** ●高血圧 ●糖尿病 ●心房細動 ●脂質異常症 ●喫煙

夏

## 脱水・熱中症に気をつけましょう!

夏は汗を多くかき、気づかないうちに体内の水分が不足がちになります。脱水症状が起こると、血液の粘度が増して、血栓ができやすくなると考えられます。また、血液の流れが悪くなり、血管が詰まりやすくなります。脱水症状を予防するためには、水分をこまめに補給しましょう。熱中症や脳梗塞の予防につながります。

高齢の方は特に気をつけましょう!



※心臓や腎臓の悪い方や持病がある方は、主治医にご相談ください。

秋

## 適度な運動を生活に取り入れましょう!

脳梗塞を予防するには、有酸素運動が効果的です。有酸素運動とは、ウォーキング・水泳・サイクリングなどのように、比較的ゆっくりとした動きで呼吸を取り入れながらする運動のことです。有酸素運動は、血圧値、血糖値、コレステロール値を下げる効果があり、脂肪を燃焼して肥満を防ぎます。スポーツの秋には、適度な運動を生活に取り入れましょう。

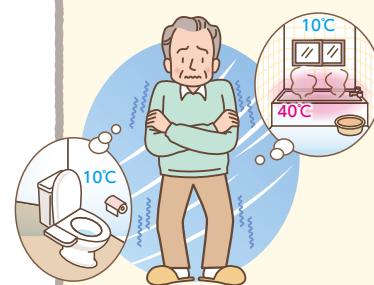
また、食欲の秋の季節ですが、高血圧や糖尿病、脂質異常症の患者さんは要注意です。

冬

## ヒートショックに気をつけましょう!

ヒートショックは、急激な温度の変化が原因で起きます。寒さが深まる冬に起こりやすく、特に高齢になるほど発症しやすくなります。暖かい部屋から寒い浴室に入ったり、いきなり熱いお風呂に浸かったりしたとき、血圧が急に上がったり、下がったりするため、心筋梗塞や脳梗塞、くも膜下出血などを引き起こす危険性があります。

冬に入浴するときは、特に注意しましょう。家の中の温度差を少なくすることがおすすめです。



### 注意するポイント

- 脱衣所をヒーターなどで暖めておきましょう。
- 2番風呂や浴槽のフタを開けておくなど、お風呂場や脱衣所が暖まってから入るなどの工夫をしましょう。
- 水分を補給して、脱水症状を予防しましょう。
- 寒い部屋やトイレに行くときは、上着を着ましょう。

## MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---